

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年12月11日

マーキュリー健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	30114
組合名称	マーキュリー健康保険組合
形態	単一
業種	労働者派遣業

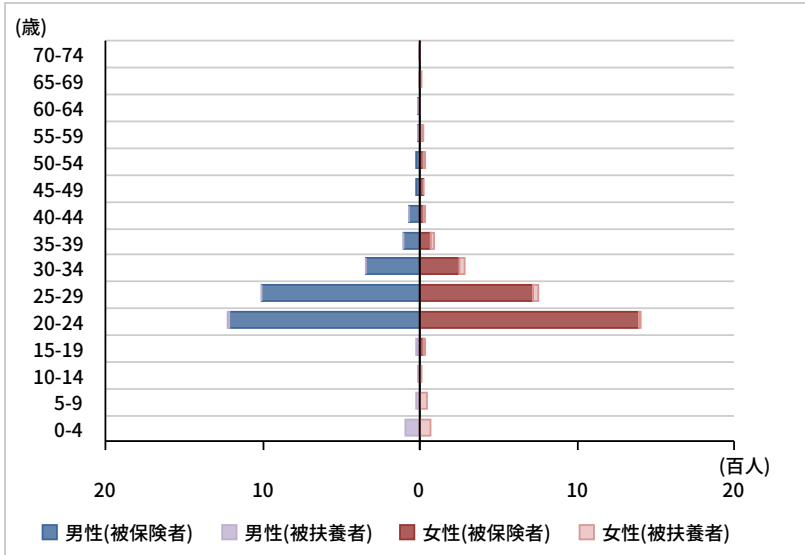
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	4,900名 男性54.1% (平均年齢27.6歳) * 女性45.9% (平均年齢26.4歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	5,341名	-名	-名
適用事業所数	5カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	22カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	90%	-%	-%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	15	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

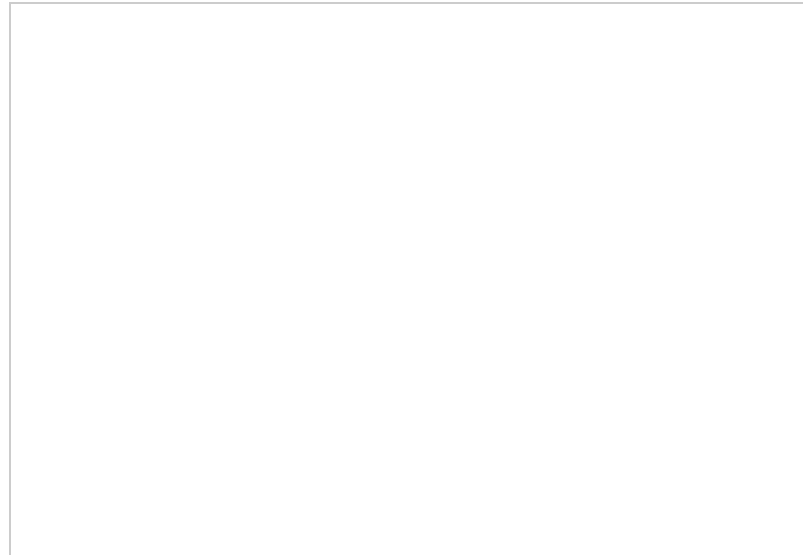
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	162 / 195 = 83.1 %	
	被保険者	159 / 169 = 94.1 %	
	被扶養者	3 / 26 = 11.5 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	22 / 40 = 55.0 %	
	被保険者	22 / 40 = 55.0 %	
	被扶養者	0 / 1 = 0.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	313	64	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	1,318	269	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	4,078	832	-	-	-	-
	疾病予防費	75,529	15,414	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	81,238	16,579	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,261,683	257,486	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	6.44		-	-	-	-	

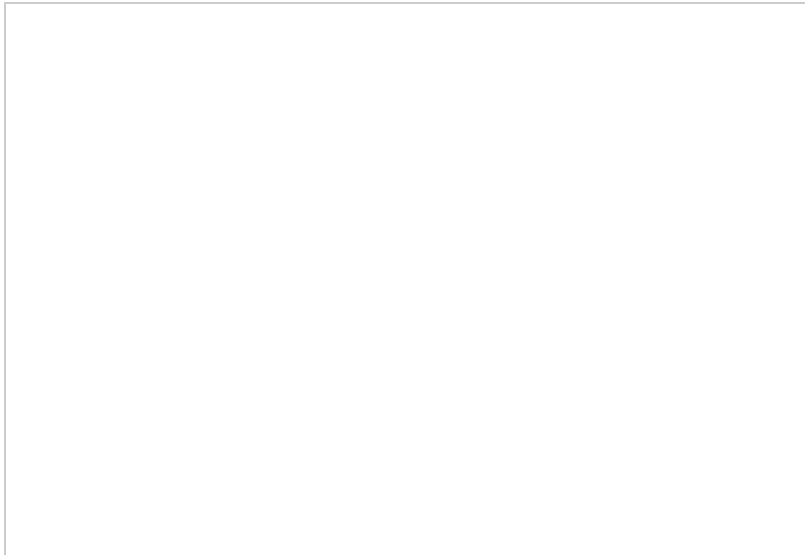
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	15人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,213人	25～29	1,005人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	341人	35～39	106人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	65人	45～49	27人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	21人	55～59	14人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	11人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	21人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,394人	25～29	719人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	253人	35～39	68人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	23人	45～49	19人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	18人	55～59	8人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	96人	5～9	26人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	10人	15～19	9人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	6人	25～29	1人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	3人	35～39	5人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	3人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	73人	5～9	43人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	15人	15～19	15人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	11人	25～29	32人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	29人	35～39	18人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	9人	45～49	5人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	6人	55～59	9人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	4人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

平均年齢が非常に低い

※特定保健指導の被扶養者の対象者数は「0」であるがポータル仕様の関係上「1」と仮で入力しております。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

令和3年4月設立。

被保険者の平均年齢が27歳であり全国平均と比較し非常に低く、男女比においては女性の割合が46.1%で女性の比率が高いことが特徴。

今年度のレセプトデータと健診データの分析結果をもとに今後の保健事業を組み立てていく予定。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健康管理 I C T ツールの提供、健保ホームページの運営
--------	-------------------------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進事業
疾病予防	基本健診・生活習慣病予防健診
疾病予防	がん検診の実施
疾病予防	喫煙対策事業

事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備											
加入者への意識づけ											
保健指導宣伝	2,5	健康管理ICTツールの提供、健保ホームページの運営	健康情報を提供することで健康リテラシーの向上に寄与する。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	- 通年実施。	事業主と連携して新規加入者に登録を促した。	なし。	5
個別の事業											
特定健康診査事業	3	特定健康診査	健康状態を把握し医療費抑制のための早期発見、早期治療を促す。受診率を上げることで保健指導対象者を漏れなく抽出する。	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	2022年7月1日~2023年10月31日に実施。	WEBでの予約ツールを活用し予約をやすくした。	なし。	5
保健指導宣伝	7	ジェネリック医薬品促進事業	ジェネリック医薬品使用の周知を徹底する。	全て	男女	18～74	加入者全員	2022年度よりジェネリックの差額通知と切り替えが行われたかの効果検証を実施。	なし	なし	5
疾病予防	3	基本健診・生活習慣病予防健診	疾病の早期発見・早期対策に結び付けることを目的に、受診率の向上を目標とする。	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者,被扶養者	2022年7月1日~2022年10月31日に実施。	WEBからの予約の仕方についてより分かりやすい案内を行った。	なし。	5
	3	がん検診の実施	がん検診の受診率向上	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	・健診時期と同時期に実施。 ・2022年度より腹部エコー検査の実施。	健保より補助が出る旨の案内を行った。	なし。	5
	5	喫煙対策事業	喫煙者がオンライン禁煙プログラムに参加することによって禁煙行動を開始し、禁煙に成功することを目指す。	全て	男女	20～74	基準該当者	- 2022年度より実施。	定期的にアンケートを実施することによって、プログラム参加者の状況を定点でモニタリングすることができた。	なし。	5

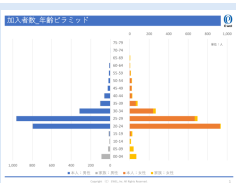
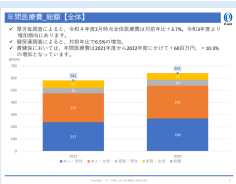
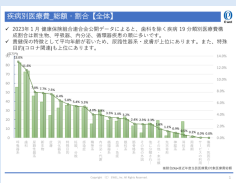

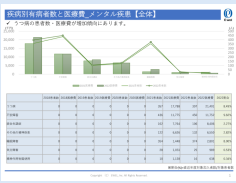
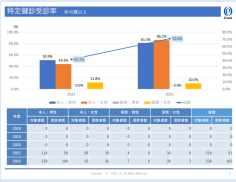
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

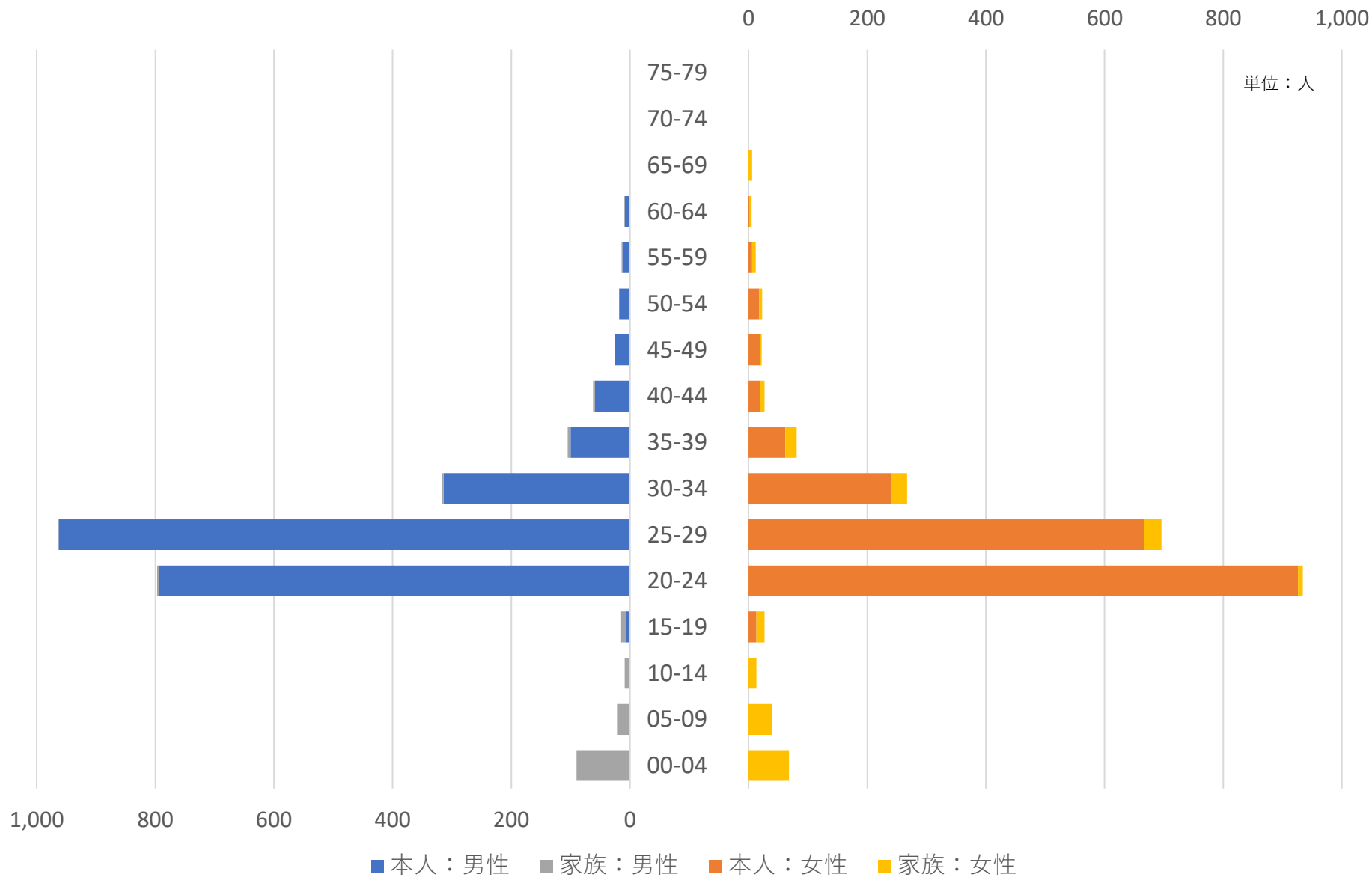
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

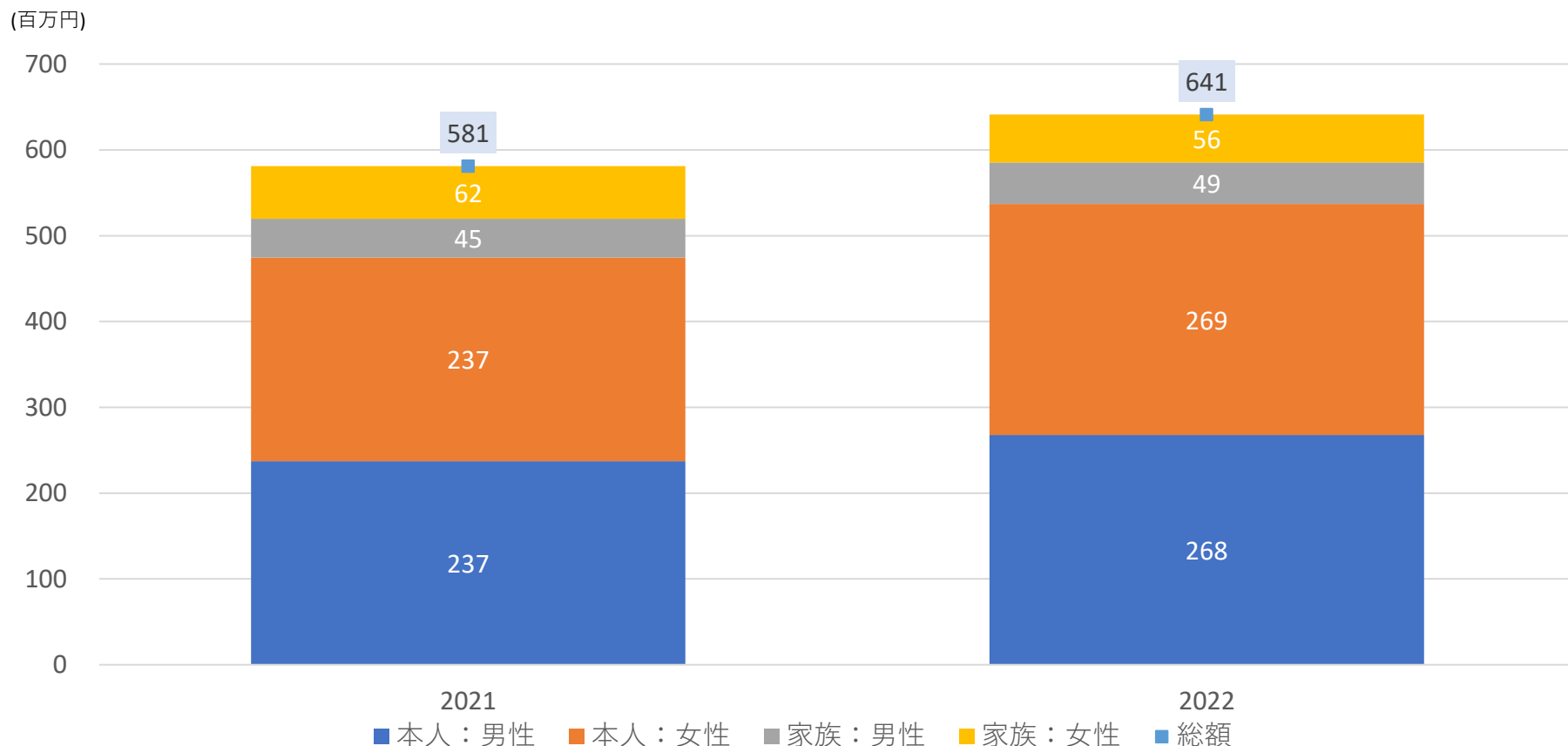
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		加入者数_年齢ピラミッド	加入者構成の分析	-
イ		年間医療費_総額【全体】	医療費・患者数分析	-
ウ		疾病別医療費_総額・割合【全体】	医療費・患者数分析	-
エ		疾病別有病者数と医療費_生活習慣病【全体】	医療費・患者数分析	-
オ		疾病別有病者数と医療費_メンタル疾患【全体】	医療費・患者数分析	-
カ		特定健診受診率	特定健診分析	-

キ	<p>問診結果「喫煙」【本人全体】</p>	問診結果「喫煙」【本人全体】	健康リスク分析	-
ク	<p>問診結果「運動習慣」【本人全体】</p>	問診結果「運動習慣」【本人全体】	健康リスク分析	-
ケ	<p>ジェネリック使用割合 金額・数量別使用割合</p>	ジェネリック使用割合 金額・数量別使用割合	後発医薬品分析	-



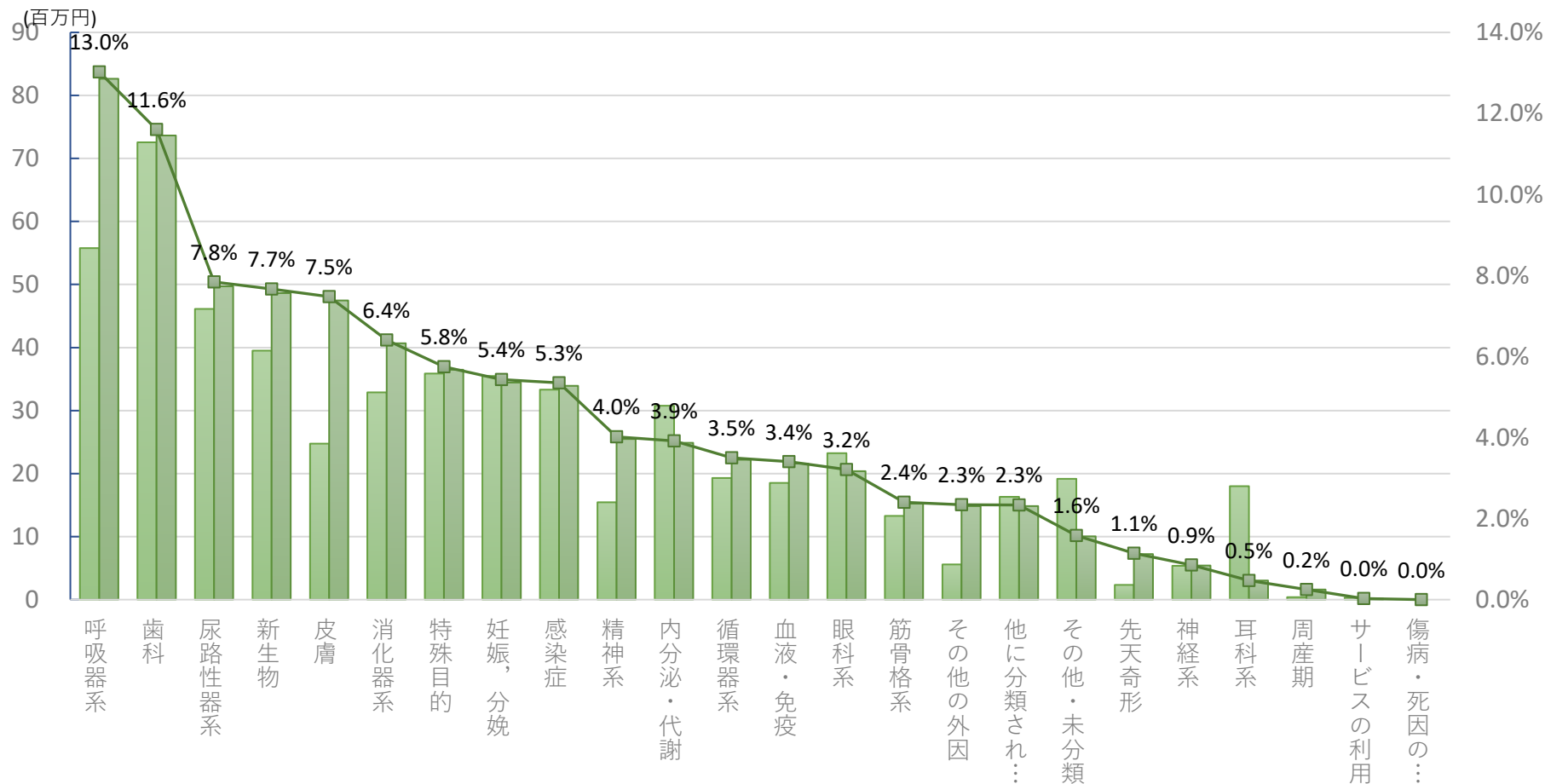
年間医療費_総額【全体】

- ✓ 厚労省調査によると、令和4年度2月時点全体医療費は対前年比+3.7%。令和3年度より増加傾向にあります。
- ✓ 健保連調査によると、対前年比で6.5%の増加。
- ✓ 貴健保においては、年間医療費は2021年度から2022年度にかけて+60百万円、+10.3%の増加となっています。



疾病別医療費_総額・割合【全体】

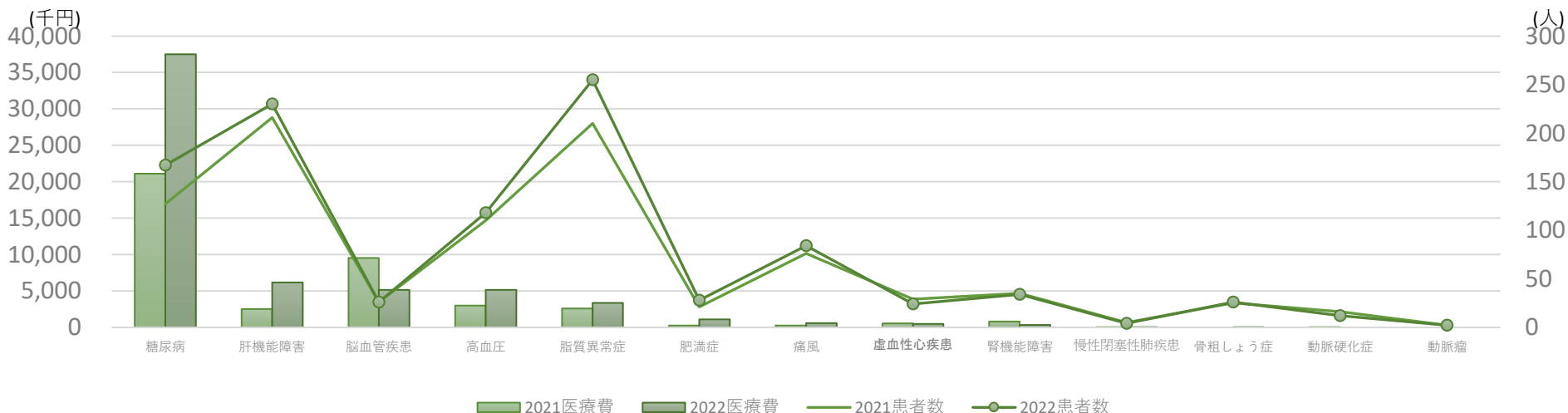
- ✓ 2023年1月 健康保険組合連合会公開データによると、歯科を除く疾病 19 分類別医療費構成割合は新生物、呼吸器、内分泌、循環器疾患の順に多いです。
- ✓ 貴健保の特徴として平均年齢が若いため、尿路性器系・皮膚が上位にあります。また、特殊目的(コロナ関連)も上位にあります。



※割合(%)=直近年度当該医療費/対象医療費総額

疾病別有病者数と医療費_生活習慣病【全体】

✓ 糖尿病と脂質異常症の患者数が増加傾向にあります。



	2018患者数	2018医療費	2019患者数	2019医療費	2020患者数	2020医療費	2021患者数	2021医療費	2022患者数	2022医療費	2022割合
糖尿病	0	0	0	0	0	0	127	21,086	167	37,517	3.57%
肝機能障害	0	0	0	0	0	0	216	2,507	230	6,178	4.92%
脳血管疾患	0	0	0	0	0	0	26	9,514	26	5,140	0.56%
高血圧	0	0	0	0	0	0	110	2,975	118	5,128	2.52%
脂質異常症	0	0	0	0	0	0	210	2,566	255	3,356	5.45%
肥満症	0	0	0	0	0	0	21	251	28	1,090	0.60%
痛風	0	0	0	0	0	0	76	258	84	579	1.80%
虚血性心疾患	0	0	0	0	0	0	29	529	24	473	0.51%
腎機能障害	0	0	0	0	0	0	35	809	34	321	0.73%
慢性閉塞性肺疾患	0	0	0	0	0	0	5	39	4	28	0.09%
骨粗しょう症	0	0	0	0	0	0	25	0	26	12	0.56%
動脈硬化症	0	0	0	0	0	0	16	8	12	0	0.26%
動脈瘤	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0.04%

※割合(%)=直近年度対象加入者数/対象患者数

疾病別有病者数と医療費_メンタル疾患【全体】

✓ うつ病の患者数・医療費が増加傾向にあります。

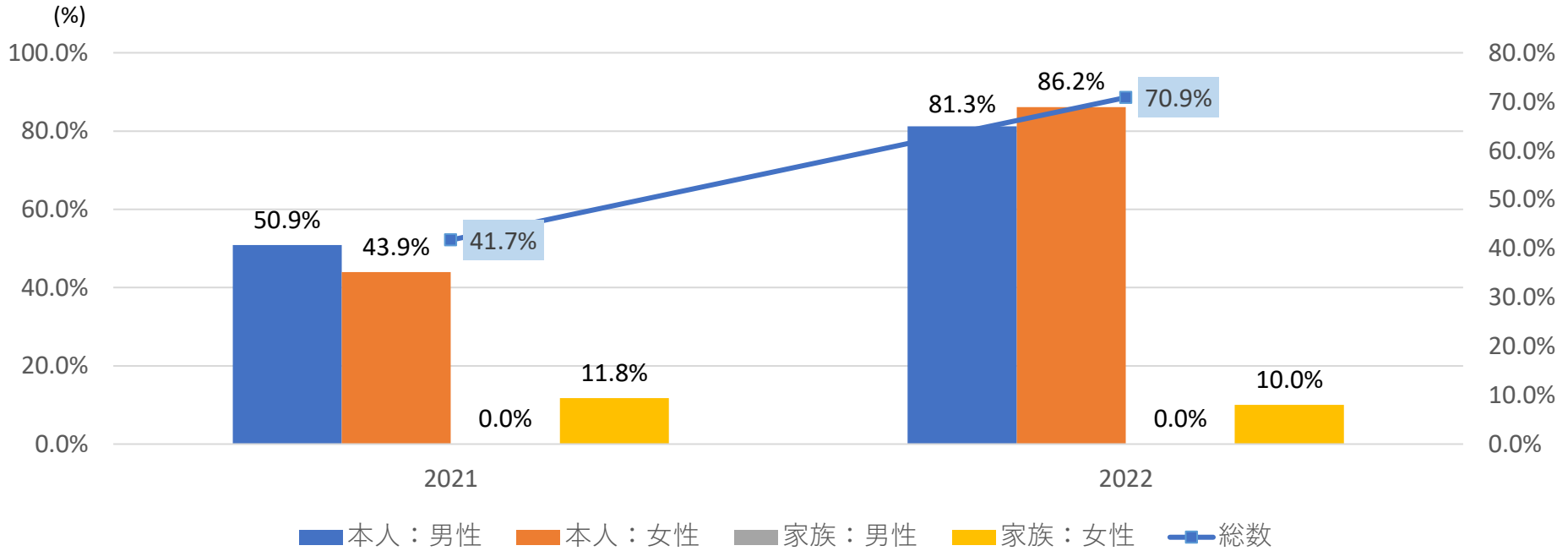


	2018患者数	2018医療費	2019患者数	2019医療費	2020患者数	2020医療費	2021患者数	2021医療費	2022患者数	2022医療費	2022割合
うつ病	0	0	0	0	0	0	357	17,788	397	21,401	8.49%
不安障害	0	0	0	0	0	0	436	11,775	450	11,752	9.62%
統合失調症	0	0	0	0	0	0	102	7,764	106	8,406	2.27%
その他の精神疾患	0	0	0	0	0	0	122	6,626	132	6,550	2.82%
睡眠障害	0	0	0	0	0	0	354	1,448	374	2,801	8.00%
気分障害	0	0	0	0	0	0	28	1,031	25	989	0.53%
精神作用物質使用	0	0	0	0	0	0	10	1,128	16	638	0.34%

※割合(%)=直近年度対象加入者数/対象患者数

特定健診受診率

※40歳以上



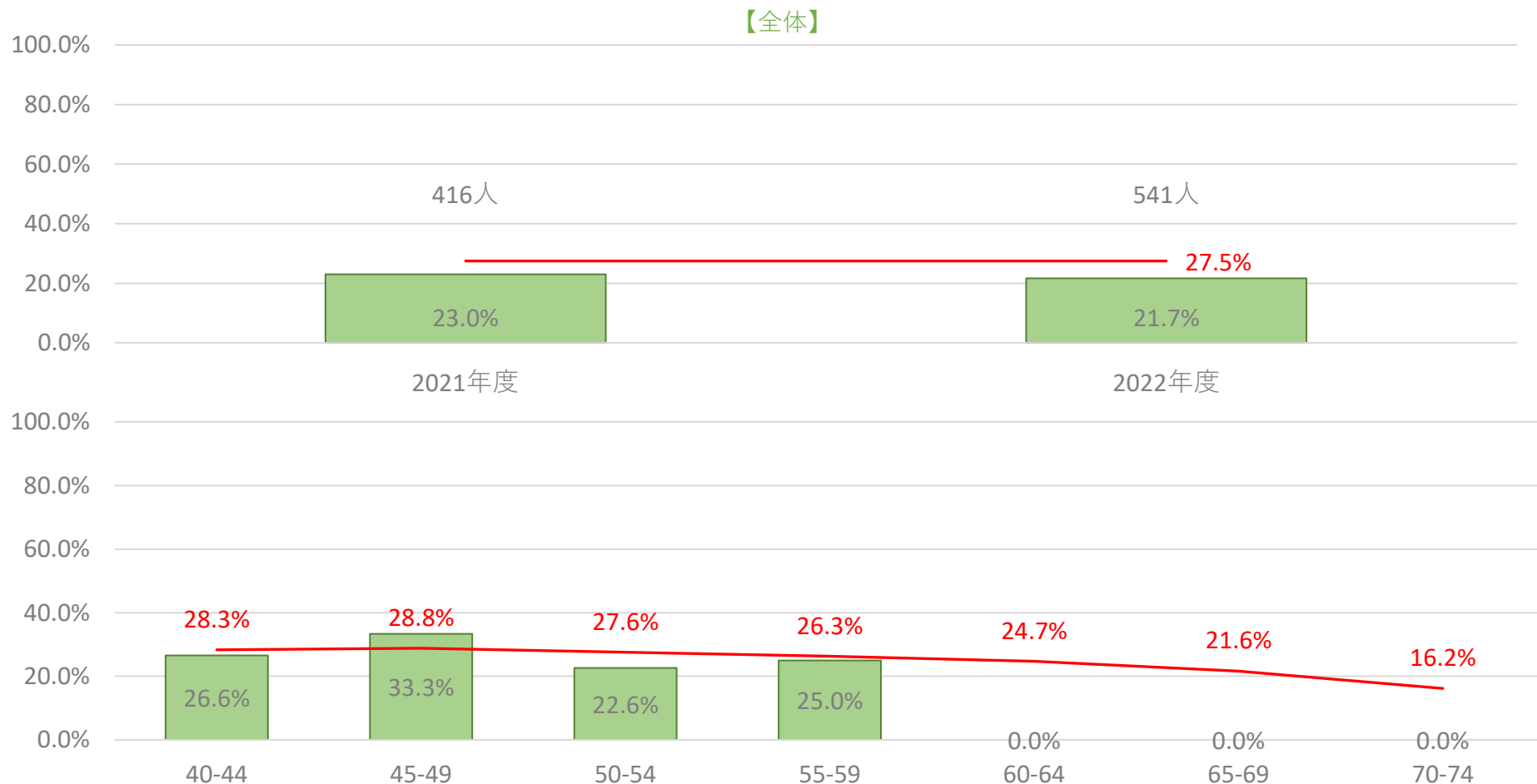
年度	本人：男性		本人：女性		家族：男性		家族：女性		総数	
	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
2018	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2019	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2021	114	58	66	29	4	0	34	4	218	91
2022	128	104	65	56	7	0	30	3	230	163

問診結果「喫煙」【本人全体】

Q:現在、たばこを習慣的に吸っている。A:はい

(※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者)

✓ 喫煙習慣のある方の割合は低下傾向にあります。

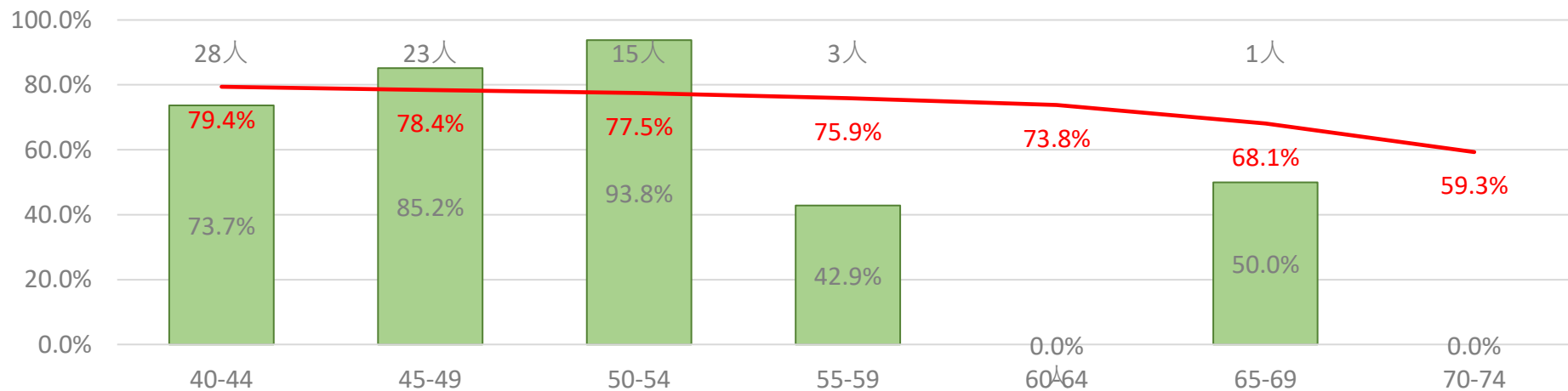
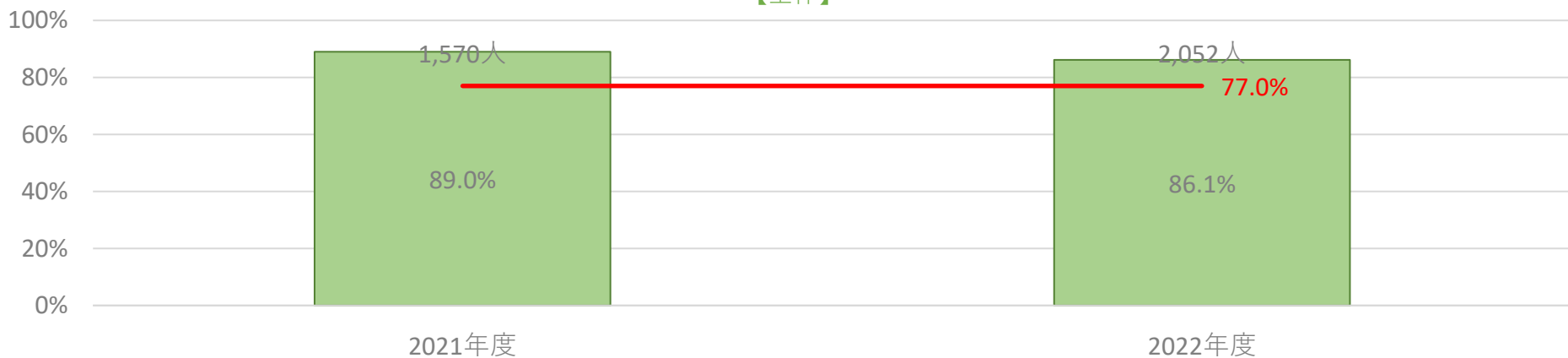


問診結果「運動習慣」【本人 全体】

Q:1 回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。A:いいえ

✓ 改善傾向にはありますが健保連平均と比較して運動習慣がない方の割合が大きいです。

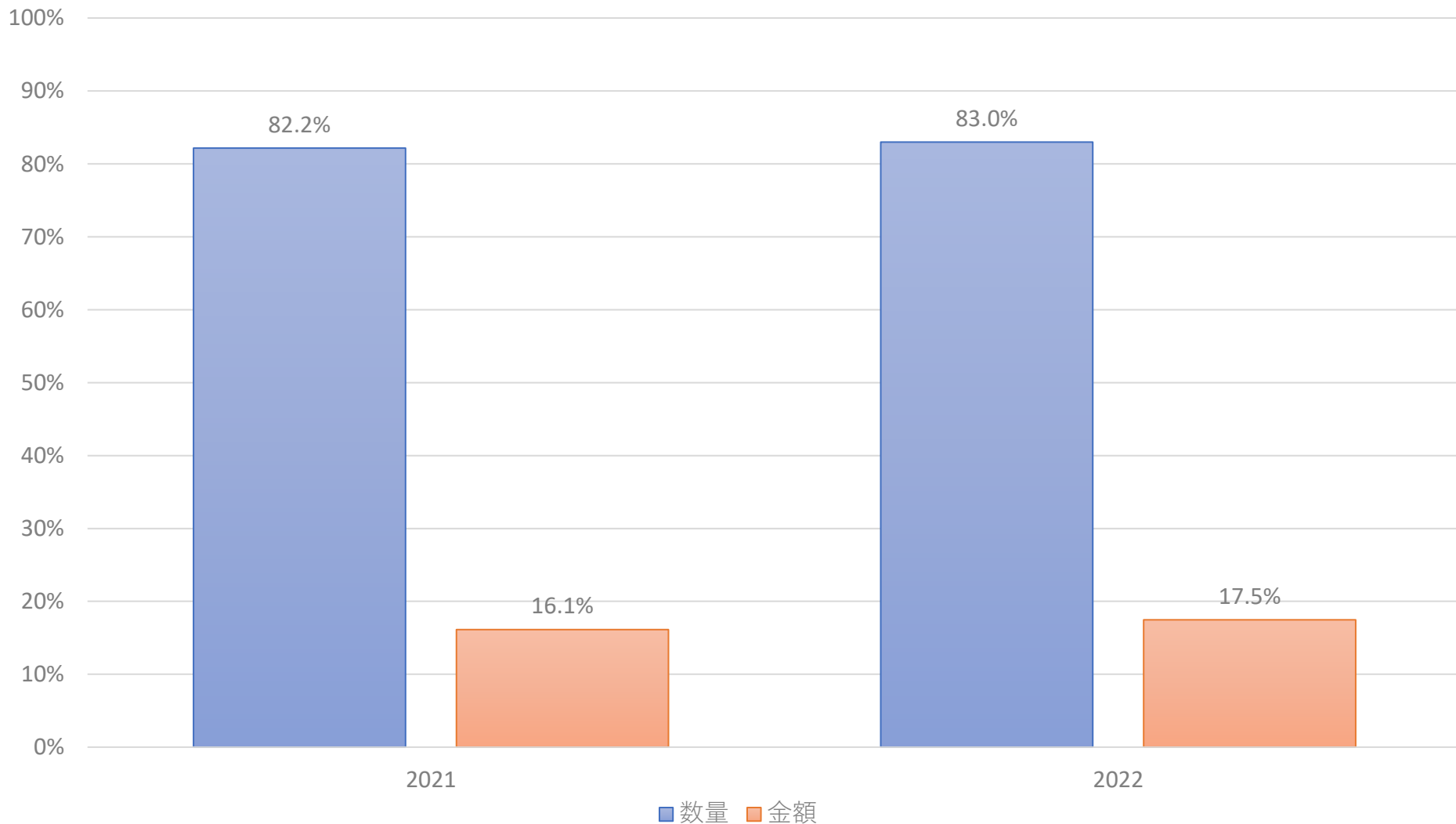
【全体】



ジェネリック使用割合 金額・数量別使用割合



国の目標値は2021年（令和3年）6月の閣議決定において数量別使用割合が**80%**
2022年3月末時点での健康保険組合における平均は**86%**



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア	若年層が多いので健康へのリテラシーが低いことが予想される。	➔	リテラシー向上の為の情報提供の強化を図りたい。	✓
2	イ	年間医療費の総額が増加傾向にあり、増加率は健保連平均と比較して上回っている。	➔	医療費の伸長率が高い対策可能な疾患を中心に施策を検討していきたい。	
3	ウ	疾病別の医療費の割合において呼吸器系、尿路性器系が上位に位置している。	➔	主に何の疾患で医療費がかかっているか分析し、平均年齢が低い健保の特徴かと思われるので、対策を検討したい。	
4	エ	糖尿病と脂質異常症の患者数が増加傾向にある。	➔	重症化予防の為の施策の導入を検討したい。	
5	オ	うつ病、不安障害の患者数が増加傾向にある。	➔	事業主とのコラボヘルスにて対策を講じていきたい。	
6	カ	特定健康診査の受診率が低い。	➔	事業主の協力を得て改善傾向にあるので引き続きコラボヘルスを継続していきたい。	✓
7	キ	喫煙習慣のある方の割合は低下傾向にある。	➔	昨年、導入した保健事業であるオンライン禁煙外来の効果が表れているかもしれないので施策の継続を検討したい。	
8	ク	運動が習慣づけられていない方の割合が依然として高い。	➔	KENPOSを用いたポピュレーションアプローチの強化に努めるべく新たな企画を検討したい。	
9	ケ	後発医薬品の使用割合の全国目標の80%は達成できているが健保連平均の86%には届いていない。	➔	今までと同様に組合員に後発医薬品の使用促進を訴えていきたい。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 平均年齢が低く、女性の割合が高い。 複数の拠点が全国に点在している。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予備軍にならないために若年層からリテラシー向上の為の情報提供やポピュレーションアプローチが重要であるとする。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査、特定保健指導等の保健事業を強化して進めている。 禁煙施策や受診勧奨、医師からの要医療者への情報提供等も一時実施した。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査と特定保健指導の実施率は上昇傾向にあるので現活動を更に強化していきたい。 運動施策等のポピュレーションアプローチの導入を検討したい。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ・若年者層のヘルスリテラシーの向上を図る。
- ・生活習慣病リスク対象者の早期発見、早期治療を行う。

事業全体の目標

- ・ヘルスリテラシーの向上にて生活習慣の改善を図る。
- ・生活習慣病リスク対象者の早期発見・早期対策のために特定健診・特定保健指導の実施率の向上を目指す。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	健保ホームページの運営
--------	-------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進事業
疾病予防	基本健診・生活習慣病予防健診
疾病予防	がん検診の実施
疾病予防	喫煙対策事業
疾病予防	インフルエンザ予防接種

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連					
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度							
アウトプット指標												アウトカム指標													
職場環境の整備																									
加入者への意識づけ																									
保健指導宣伝	5	既存	健保ホームページの運営	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	エ		シ							・より有益な健康保険関連情報を組合員に提供すべく、定期的に更新を行う。	・より有益な健康保険関連情報を組合員に提供すべく、定期的に更新を行う。	・より有益な健康保険関連情報を組合員に提供すべく、定期的に更新を行う。	・より有益な健康保険関連情報を組合員に提供すべく、定期的に更新を行う。	・より有益な健康保険関連情報を組合員に提供すべく、定期的に更新を行う。	・より有益な健康保険関連情報を組合員に提供すべく、定期的に更新を行う。	加入者の健康リテラシーの向上を目的に、健保組合HPを活用して情報提供をタイムリーに行うことを目標とする。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
																		更新回数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)健康組合HPの更新回数をアウトプット指標とする。	アウトカム指標の設定が困難なため(アウトカムは設定されていません)						
個別の事業																									
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～(上限なし)	基準該当者	1	ア		シ		対象者個別に周知					インセンティブ提供、対象者個別の周知・受診干渉	インセンティブ提供、対象者個別の周知・受診干渉	インセンティブ提供、対象者個別の周知・受診干渉	インセンティブ提供、対象者個別の周知・受診干渉	インセンティブ提供、対象者個別の周知・受診干渉	インセンティブ提供、対象者個別の周知・受診干渉	特定健康診査にて、現在の健康状態を把握し医療費抑制のための早期発見、早期治療を促す。受診率を上げることで保健指導対象者を漏れなく抽出する。	喫煙習慣のある方の割合は低下傾向にある。 運動が習慣づけられていない方の割合が依然として高い。 特定健康診査の受診率が低い。
																		案内回数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)特定健康診査対象者への5月周知、6月、7月、8月実施	受診率【実績値】 79% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)						
保健指導宣伝	7	新規	ジェネリック医薬品促進事業	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	1	キ		シ		専門事業者の活用					専門事業者を活用した抽出。ジェネリック医薬品の切替への干渉。	専門事業者を活用した抽出。ジェネリック医薬品の切替への干渉。	専門事業者を活用した抽出。ジェネリック医薬品の切替への干渉。	専門事業者を活用した抽出。ジェネリック医薬品の切替への干渉。	専門事業者を活用した抽出。ジェネリック医薬品の切替への干渉。	専門事業者を活用した抽出。ジェネリック医薬品の切替への干渉。	ジェネリック医薬品に切替えた際の差額通知を送付し一層のジェネリック医薬品の利用促進を目指す。	後発医薬品の使用割合の全国目標の80%は達成できているが健保連平均の86%には届いていない。
																		差額通知の送付回数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-	ジェネリック医薬品の使用割合【実績値】 84% 【目標値】 令和6年度：85% 令和7年度：85% 令和8年度：85% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)ジェネリック医薬品の使用割合(数量)						
疾病予防	3	既存(法定)	基本健診・生活習慣病予防健診	全て	男女	18～74	被保険者、被扶養者	1	ウ		ア							・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	事業主と協力のもと受診率向上の為に体制を構築することを目標とする。	糖尿病と脂質異常症の患者数が増加傾向にある。
																		案内回数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)オプション健診の周知	受診者数【実績値】 196人 【目標値】 令和6年度：200人 令和7年度：200人 令和8年度：200人 令和9年度：200人 令和10年度：200人 令和11年度：200人)-						
	3	既存	がん検診の実施	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者、被扶養者	1	イ、ケ		ア							・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	・事業主と連携のもと受診勧奨を実施する。	がん検診の案内通知の方法等を工夫し、受診者への関心を高め受診率の向上を目指す。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
																		案内回数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-	本事業における適切なアウトカムが設定不可能なため。(アウトカムは設定されていません)						
	1	既存	喫煙対策事業	全て	男女	20～74	基準該当者	3	キ		ア							専門事業者の活用	専門事業者の活用	専門事業者の活用	専門事業者の活用	専門事業者の活用	専門事業者の活用	喫煙者がオンライン禁煙プログラムに参加することによって禁煙行動を開始し、禁煙に成功することを目指す。	喫煙習慣のある方の割合は低下傾向にある。
																		参加人数【実績値】 8人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)-	喫煙率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：22% 令和7年度：21.5% 令和8年度：21% 令和9年度：20.5% 令和10年度：20% 令和11年度：19.5%)						

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
8	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～(上限なし)	被扶養者	1	キ	-	シ	対象者への個別周知	対象者への個別周知	対象者への個別周知	対象者への個別周知	対象者への個別周知	対象者への個別周知	対象者への個別周知	自己負担の軽減を図ることにより、多くの加入者に予防接種の機会を提供し、加入者の感染予防と重症化予防に寄与する。	疾病別の医療費の割合において呼吸器系、尿路性器系が上位に位置している。
補助実施率(【実績値】18% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-												本事業における適切なアウトカムが設定不可能なため。(アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他